

林兼産業株式会社

2017年3月期第2四半期 決算説明資料

2016年11月14日

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期 第2四半期累計			
		実績	前年増減	当初計画	計画増減
売上高	23,714	23,055	▲658	23,500	▲444
営業利益	586	573	▲12	430	143
経常利益	556	582	26	380	202
親会社株主に帰属する 四半期純利益	309	444	135	330	114

前期との主な変動要因

売上高	食肉加工品(OEM製品)や肉類の販売数量減少により減収 養魚用飼料の売上高が減少したことにより減収
営業利益	売上高の減少などにより減益
経常利益	営業外損益の改善により増益

セグメント別の売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期 第2四半期累計			
		実績	前年増減	当初計画	計画増減
売上高	23,714	23,055	▲658	23,500	▲444
水産食品事業	1,995	2,061	66	2,150	▲88
畜産食品事業	10,037	9,633	▲403	9,800	▲166
飼料事業	10,555	10,005	▲550	10,500	▲494
その他の事業	1,126	1,354	228	1,050	304
営業利益	586	573	▲12	430	143
水産食品事業	▲36	▲16	20	20	▲36
畜産食品事業	254	223	▲30	250	▲26
飼料事業	733	800	66	620	180
その他の事業	143	106	▲36	70	36
消去又は全社	▲507	▲539	▲32	▲530	▲9

貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2016年3月期末	2017年3月期 第2四半期末	
			増減
流動資産	12,109	12,488	379
固定資産	14,797	15,990	1,192
資産合計	26,906	28,478	1,571
流動負債	14,504	14,884	380
固定負債	6,987	7,345	358
負債合計	21,491	22,230	738
純資産合計	5,414	6,247	833
負債純資産合計	26,906	28,478	1,571

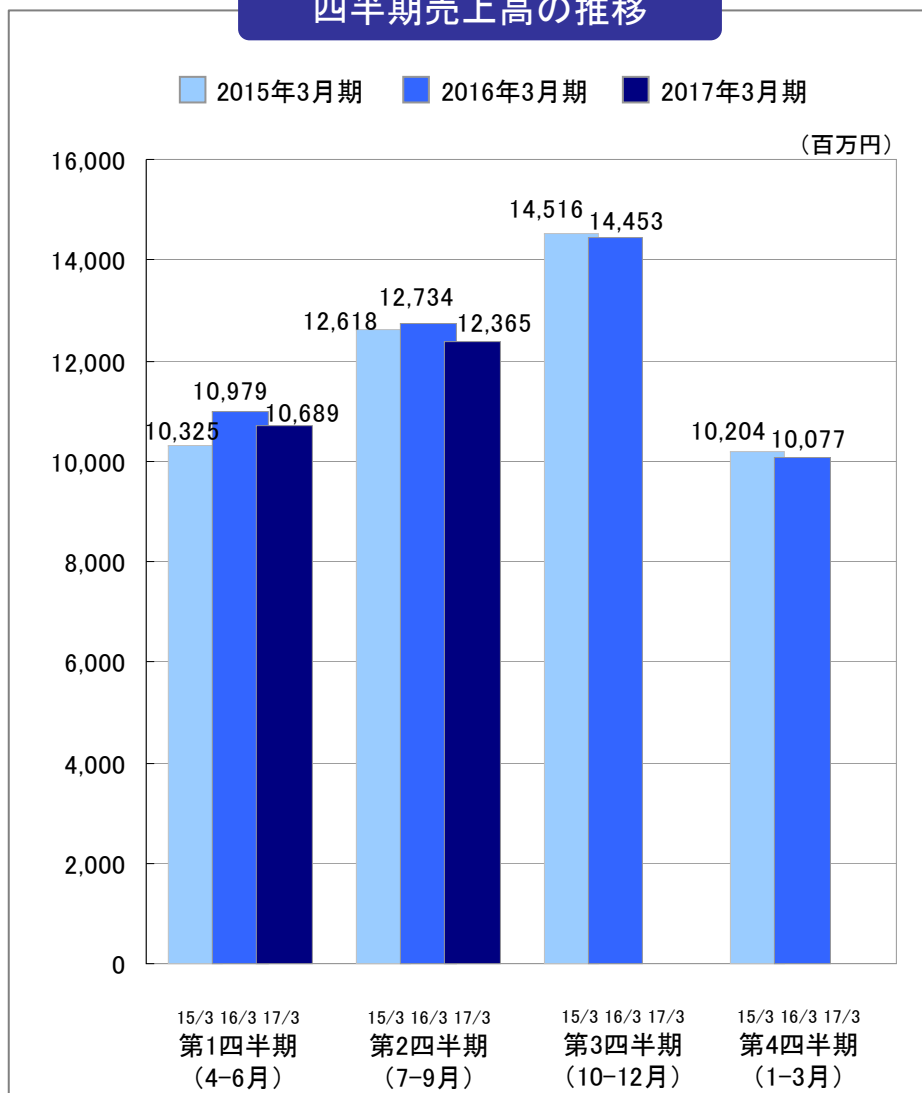
キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

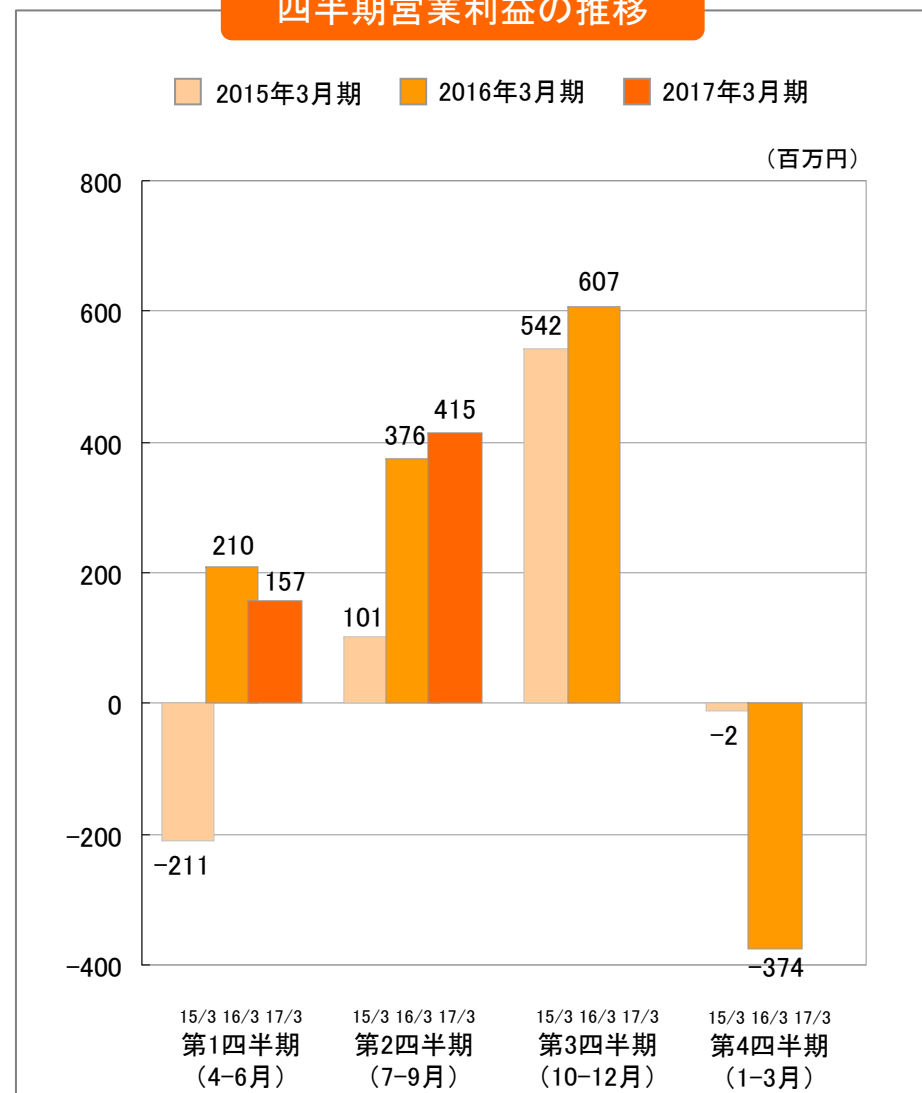
	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期 第2四半期累計	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲452	348	801
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲308	▲194	114
フリー・キャッシュ・フロー	▲761	153	915
財務活動によるキャッシュ・フロー	938	▲307	▲1,245
現金及び現金同等物の増減額	175	▲154	▲330
現金及び現金同等物の期首残高	1,397	1,415	17
現金及び現金同等物の期末残高	1,573	1,261	▲312

業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移

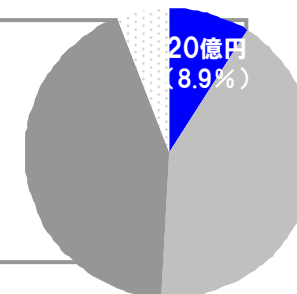


概況：機能性食品の販売数量増加により増収

水産食品事業

売上高 20億61百万円（前期比 3.3%増）

営業利益 ▲16百万円（前期より20百万円改善）



2017年3月期 第2四半期の状況

水産食品

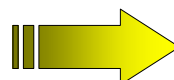
- ・ 魚肉ソーセージの主力取引先への販売数量減少
- ・ 海外向け販売数量増加
- ・ 生産性の向上により収益改善

機能性食品

- ・ 機能性食品素材「エラスチン」の販売数量増加
- ・ 高齢者向けソフト食「ソフミート」の売上増加
- ・ 和菓子の売上増加

水産食品事業

アクションプラン



実行状況および今後の取り組み

■ 魚肉ねり製品の販売拡大

- ・既存主力商品の販売拡大
- ・海外輸出（中国、台湾、香港）の取り組み強化
- ・商品設計や生産工程の見直しによる生産性の改善
- ・新規市場の創出を視野とした新製品開発の促進

- ・国内販売 主力OEM先との取り組み強化
- ・海外販売 上期輸出実績420トン（前年比125%）
- ・ポルプ活動の継続による生産性の改善活動への取り組み
- ・長期保存ソーセージの防災用品ルートでの販売開始

■ 機能性食品の拡大

- ・機能性表示食品対応素材（エラスチン等）としての新エビデンス取得と販路開拓
- ・下関、大阪、東京の営業3拠点からの市場アプローチによる業容拡大
- ・大手受託給食での採用実績の拡大

- ・バスト下垂抑制のエビデンスにより、商品開発の案件が増加
- ・大阪支社新設により、関西および東海地区での取り組みを強化
- ・最大手受託給食会社での採用決定。PB商品の販売開始

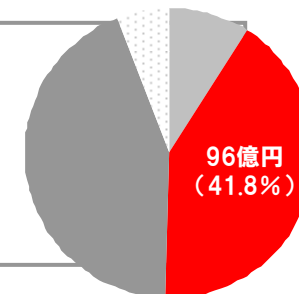
セグメントの状況（畜産食品事業）

概況：食肉加工品および肉類の販売数量減少により減収

畜産食品事業

売上高 96億33百万円（前期比 4.0%減）

営業利益 2億23百万円（前期比 12.1%減）



2017年3月期 第2四半期の状況

食肉加工品

- ・ OEM製品の販売数量減少

食肉

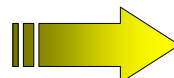
- ・ 鶏肉の販売数量減少や豚肉の販売単価下落
- ・ 中元ギフト事業においては売上増加（前年比110%）

調理食品

- ・ 大手量販店向けPB（プライベートブランド）製品の受注を開始

畜産食品事業

アクションプラン



実行状況および今後の取り組み

■ 大阪支社開設による販売拡大

- ・関西、東海、北陸への販売活動の強化
- ・既存製品拡販と新製品投入
- ・林兼産業グループの特性を生かした付加価値商品の拡販

- ・加工品の販売強化のため、大阪支社に加工食品営業部門を新設
- ・営業部門と物流部門の分離による専門性特化
- ・中部地区への既存取引先への取り組み強化及び新規開拓

■ スターゼングループとの連携強化

- ・協働販売の強化と新規取引開拓
- ・新規アイテムの協働開発
- ・スターゼングループからの原料肉仕入拡大

- ・販売拠点、販売チャネルの相互利用による売上増
- ・新規アイテムの協働開発
- ・生産数量増に向けた取り組み

■ 霧島黒豚の販売強化

- ・ブランド販売力の強化
- ・大手流通企業、広域量販店、全国コンビニ向け黒豚PB商品の開発
- ・中元、歳暮、通販でのギフト販売拡大

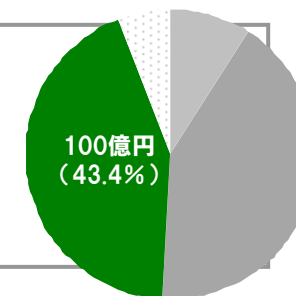
- ・高品位主体の惣菜製品開発
- ・都城工場食肉惣菜増産に向けてのライン整備
- ・既存得意先の店内シェアアップ
- ・東北地区の新規取引先開拓

概況：養魚用飼料の売上高減少により減収

飼料事業

売上高 100億5百万円（前期比 5.2%減）

営業利益 8億円（前期比 9.1%増）



2017年3月期 第2四半期の状況

養魚用飼料

- ・ 円高による輸出販売数量減少
- ・ マグロ用飼料ツナフードにおいては販売数量増加（前年比155%）
- ・ 生産性向上に努めたことにより増益

水産物

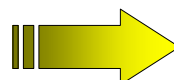
- ・ 鰻やブリの取り扱い量が増加

畜産用飼料

- ・ 原材料価格の低下により収益改善

飼料事業

アクションプラン



実行状況および今後の取り組み

■ 養魚用飼料の販売強化

- ・海外市場のニーズに沿った新製品開発
- ・既存輸出の定着と新規輸出先の開拓
- ・抗病性飼料の開発と商品化
- ・魚粉事情に影響されにくい新時代飼料の更なる普及と開発
- ・マグロ用飼料ツナフード販売の市場開拓と更なる性能向上

- ・海外市場に高付加価値商材や新時代飼料を提案中
- ・円高基調による輸出量減少のため対策を検討中
- ・抗病性飼料は野外試験による効果を確認中
- ・魚粉10%以下でも現行品と遜色ない製品を開発中
- ・生産者のブランド化協力などによる拡販活動を実施中

■ 水産物の収支改善

- ・平安海産のブランド魚「うまかぶり」の加工度UPと販路拡大
- ・ブリと鰻の育成改善による生産原価低減と品質向上

- ・加工度の高い商品の拡販を実行中
- ・生産技術改良による育成成績の改善を実行中

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期累計		2017年3月期 第2四半期累計		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	23,714	100.0%	23,055	100.0%	▲658		
売上原価	20,104	84.8%	19,473	84.5%	▲630	▲0.3%	売上高原価率0.3ポイント改善
販売費及び一般管理費	3,023	12.7%	3,007	13.0%	▲15	0.3%	
営業利益	586	2.5%	573	2.5%	▲12	0.0%	
受取配当金	43		47		3		
その他	94		107		12		(百万円)
営業外収益合計	138		154		15		営業外収益 +15
支払利息	140		122		▲17		営業外費用 ▲23
その他	27		22		▲5		営業外損益改善 +39
営業外費用合計	168		145		▲23		
経常利益	556	2.3%	582	2.5%	26	0.2%	経常利益率0.2ポイントアップ
特別利益合計	22		0		▲22		(百万円)
貸倒引当金繰入額	110		—		▲110		特別利益 ▲22
その他	40		17		▲22		特別損失 ▲132
特別損失合計	150		17		▲132		特別損益改善 +110
法人税等合計	84		100		15		
非支配株主に帰属する四半期純利益	34		20		▲14		
親会社株主に帰属する四半期純利益	309	1.3%	444	1.9%	135	0.6%	

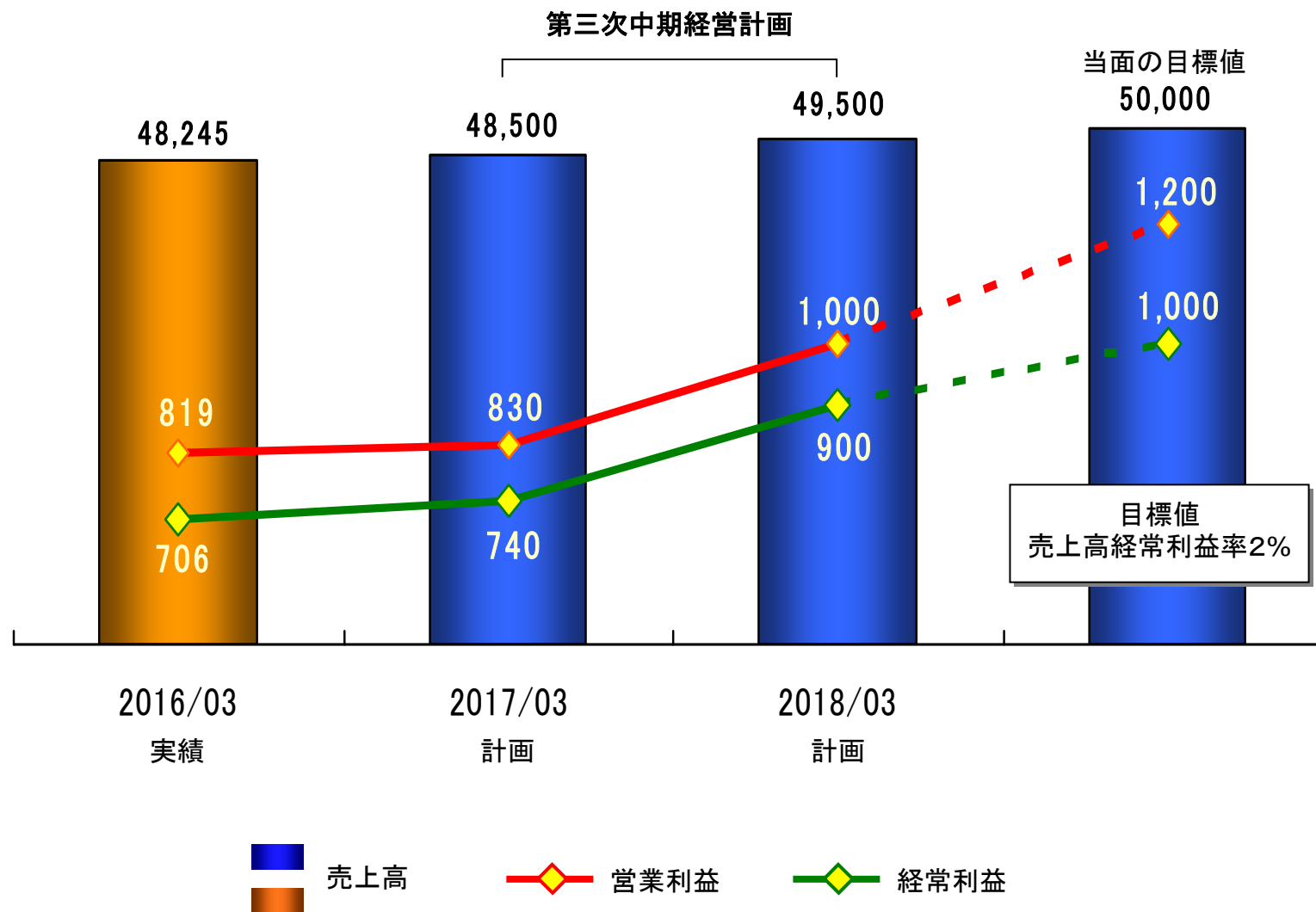
(単位:百万円)

	2016年3月期 実績	2017年3月期			
		第2四半期累計実績	前年増減	通期計画	前年増減
売上高	48,245	23,055	▲658	48,500	254
営業利益	819	573	▲12	830	10
経常利益	706	582	26	740	33
親会社株主に帰属する 当期純利益	384	444	135	600	215

2017年3月期 通期の見通し

第2四半期連結累計期間の業績は損益面において当初予想を上回ったものの、今後の販売環境が不透明であることから、当初予想を据え置いております。

(単位:百万円)



 林兼産業株式会社

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先

林兼産業株式会社 管理本部総務部

TEL 083-266-0210

IRサイト <http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>